



○日時

令和元年 7 月 5 日 (金) | 14:00~17:00
| 受付 13:30~ |

○会場

群馬大学工学部同窓記念会館
| 桐生キャンパス |

群馬大学

グローバルSDGs指向研究シンポジウム

— 防災と環境のその先を見つめて —

国連サミットで採択されたSDGsは、(Sustainable Development Goals) 現代の地球に生きる世界市民、とりわけ科学技術をリードする私たち学術研究者・技術者たちが強く意識しなくてはならない喫緊の到達目標です。

本シンポジウムは、SDGsの目標の中でも、特に『自然環境と共存した社会の実現』に関する目標に関連する専門分野の研究者が一堂に会して、互いの研究成果を交換し合うことを通じて、その地球的価値観を共有するとともに、研究グループ間の有機的な連携の可能性を含めた自由な意見交換を行うことを目的としています。

○プログラム

- 14:00 | 開会挨拶 (広域首都圏防災研究センター長 清水 義彦)
- 14:05 | 来賓挨拶 (桐生市長 荒木 恵司氏)
- 14:10 | 基調講演 (科学技術振興機構 経営企画部 持続可能な社会推進室 調査役 山田 浩貴氏
主査 平川 祥子氏)
『STI for SDGs ~国内外の動向とJSTの取組~ (仮題)』
- 15:20 | 話題提供
 -  『水再生と資源・エネルギー回収へ向けたMETの可能性 (仮題)』 (大学院理工学府 教授 渡邊 智秀)
 -  『途上国における技術開発とSDGs』 (大学院理工学府 准教授 野田 玲治)
 -  『微小エネルギーを利用したMEMS環境発電技術の創出』 (大学院理工学府 教授 鈴木 孝明)
 -  『社会資本の根幹を成すコンクリート構造物の耐火性向上を目指して』 (大学院理工学府 准教授 小澤 満津雄)
 -  『国民の防災リテラシーの向上が持続可能なまちづくりに与える影響』 (大学院理工学府 教授 金井 昌信)
 -  『水災害における気候変動の影響をどう読むか-読み解く技術と適応策への展開』 (大学院理工学府 教授 清水 義彦)
 -  『アジアモンスーン地域諸国でのリアルタイム土砂災害警戒システムの開発』 (大学院理工学府 教授 若井 明彦)
 -  『SDGsにおける地域の生物多様性保全の位置づけ』 (社会情報学部 教授 石川 真一)
 - 『SDGsと連携/SDGsにおける連携——SDGsと社会情報学』 (社会情報学部 准教授 平田 知久)
- 16:25 | パネルディスカッション・自由討議
- 16:55 | 閉会挨拶 (社会情報学教育・研究センター研究部門長/センター長代理 平田 知久)

主催 群馬大学広域首都圏防災研究センター / 共催 群馬大学社会情報学教育・研究センター

お問い合わせ先 | 群馬大学 大学院理工学府 環境創生部門 (担当: 金井) / Tel: 0277-30-1652 / Email: kanai@gunma-u.ac.jp |